

【支援の背景】

電子機器を製造販売するためには、各国の規制基準をクリアする必要があります。EMC<sup>\*</sup>規制においても、CISPR, IEC という国際規格や、国内でも情報処理装置についての自主規格「VCCI」、各種電気機器や医療機器などに関する JIS 規格や各種製品を製造・販売しているメーカーが定める独自規格など、様々な規制・規格が定められています。特に各種規格の基礎となっている国際規格 CISPR では、近年急増しているマルチメディア機器に関する新たな規格が施行されるなど、市場の実情に合わせて EMC の規制は日々変化しております。

当センターではそういった市場要求に対応するため、平成 30 年 2 月に地方創生拠点整備交付金で新たに大型シールドルームを導入しました（図 1）。室内寸法は 5,900mmW×8,900mmL×2,250mmH となっており、より大型の被試験体に対する EMC 試験を行えるようになりました。



図 1 大型シールドルーム

※EMC とは、EMC : Electro-Magnetic Compatibility(電磁環境両立性)の略語であり、機器が電磁波による影響を周囲の機器へ与えず、自身も周囲の機器などが与える電磁波による影響を受けないという、以下の性能を満足することです。

- ・EMI 性能：不要な電磁波（ノイズ）を出さないこと
- ・EMS 性能：外部からのノイズで誤動作しない耐性をもつこと

【支援内容】

当センターは、電子機器の EMC 性能評価や、規格適合のための対策支援を行っています。平成 30 年度も試験評価のサポートを行い、フェライトコアやラインフィルタ、ノイズ抑制シートなどの各種ノイズ対策部品の選定や、CE マーキング等の海外規格取得支援などの技術支援を行いました。

【支援事例の紹介】



図 2 ポータブルバッテリー溶接機

図 2 は、当センターの試験設備をご利用された企業の製品例です。ノイズを出しにくい内部配線や基盤の配置などのアドバイスをを行い、規格適合のための支援を行いました。

企業名：育良精機株式会社

商品名：ポータブルバッテリー溶接機

型 式：ISK-Li160A

製品概要：

- ・電源のない場所でも使用できる溶接機
- ・約 1 時間の充電で作業を始めることができる
- ・本体質量が 18kg であるため、持ち運びが可能
- ・外形寸法：185mmW×455mmL×320mmH

<b>基礎となった事業</b>	平成 30 年度 試験研究指導費（依頼試験, 設備使用）			
<b>現在の担当部門</b>	技術基盤部門	部 門 長	若 生 進一	TEL:029-293-8575
		主 任	磯 直樹	
		主 任	平間 毅	
		主 任	石川 卓	
		技 師	河原 航	